

二小の風

学校通信



令和元年6月10日
6月号 天理市立二階堂小学校
文責 北野 博康
<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>

子どもたちの安全を守る

今年度になって、滋賀県での保育所の園外保育中に起きた交通事故や川崎市の通学途中に殺傷される事件など、小さな子どもたちが犠牲になることが続きました。朝、元気に家を出た我が子が突然亡くなる知らせを受けた保護者の心痛を察するとたまりません。

川崎市の事件を受けて警察の方も登下校の見守りを強化してくれています。地域でも、保護者の皆さんを含め、どんな悪天候でも登校時の見守りに立ってくださっています。しかし、分団登校する朝よりも、少人数で帰る下校時の方はまだまだ心配です。是非とも保護者の皆さんにも協力をお願いしたいと思います。



また、子ども達には、下校会や避難訓練の際に、命を自分で守ることの大切さをお話しています。恐怖心だけをもたせて過敏になりすぎることは問題ですが、青信号でも横断歩道を注意しながら渡るとか、川や池の危険な所に近づかないとか、一人で行動しないとか、自分たちが注意できることで危険を減らすことができます。

子どもが巻き込まれる悲しい事件や事故のニュースはもう見たくありません。

赤組白組 最高にアツイ運動会

6月1日(土)、令和の時代になって初めての運動会が行われました。本校が始まって以来の初の春開催の運動会でした。

前日に降った雨がグラウンド状態を良くし、気温の上昇を押さえて、最高のコンディションの中、実施することができました。今年度は、5月の異常な暑さに体が慣れていないことや入学間もない1年生のことを考え、午前開催を計画したものですから、開始時刻を早めたり、2学年合同の競技にしてプログラムを減らしたり、競技の入場を駆け足にしたりすることで時間短縮を図りました。

しかし、決して内容については、例年と遜色ないものだったと思います。短期間の練習で子ども達はあれだけの演技、競技を披露することができました。

また、5、6年生が各係の仕事に駆け足で移動している姿は、とても気持ちがよかったです。そうした頑張りが初めてづくしの運動会を成功させたのだと思います。

二階堂小学校の運動会に新たな歴史が生まれたような気がします。

そこには保護者の皆様のご理解とご協力があつたからです。特に後片付けには、PTAの役員さんをはじめ、多くの保護者の



方が協力してくださいました。おかげで、児童が下校する際には、殆ど片付いていました。協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

新学期がスタートして、家庭訪問や10連休、遠足、そして、運動会と落ち着いて学習できなかった分、これからは、エアコンの効いた教室で学習に集中してもらいます。

新しい生命の誕生に歓声!

3年生の理科のゲストティーチャーとして、今年もオオムラサキを飼育されている和田先生に来ていただきました。

そして、授業の後、学校にオオムラサキの幼虫や蛹をくださり、その一部を校長室前に展示しておいたところ、羽化しました。残念ながらその瞬間は誰も見ることは

できなかったのですが、まだ羽もしめっている状態のオオムラサキを3年生の児童がずっと眺めていました。動き出すと、どこからか「がんばれ!」の声が出てきて、とうとう紫の羽を広げた瞬間、「わあー!」と大歓声があがりました。そして、飛び立つまで廊下で観察が続きました。命の誕生に立ち会えた感動的な学習でした。



ボランティアの募集

金曜日の朝のワクワクタイム(8:20~8:35)の時間に、ボランティアの皆さんが各学級に絵本の読み聞かせに回ってくださっています。

その活動に興味があり、ご協力いただける方がおられましたら、学校にご連絡ください。



